

会 告

日本鉄鋼協会第 63 回
春季講演大会講演募集

来春 4 月 東京大学で開催予定の講演大会において講演ご希望の方は、下記要領お含みのうえふるつてお申込み下さい。

- (1) 講演申込締切 昭和36年12月10日 期日厳守願います。
- (2) 講演申込先 東京都千代田区丸ノ内2の10仲14号館1号
日本鉄鋼協会宛
- (3) 申込用紙 添付の申込用紙に当該事項記入のうえ切り取つて原稿とともにご送付下さい。
(講演時間は 20 分以内とします)
- (4) 講演前刷用原稿
前刷原稿の寄稿規程については「鉄と鋼」寄稿規程の中に併記してあります。
講演前刷原稿については寄稿規程中のアンダーラインの箇所に特に注意して下さい。
(「鉄と鋼」寄稿規程は本誌 1661 ページにあります。)
- (5) この講演前刷は会誌「鉄と鋼」昭和 37 年 3 月号として刊行いたしますので、編集および印刷の都合上締切後の受付はいたしませんから、原稿は期日までに必ずご送付願います。
- (6) 講演される方は会員に限りますので、会員外の方で講演希望の方は入会の手続終了後お申込み下さい。
- (7) 講演会場における講演用図表寸法は横 1,200mm以内、および図表掲示場所は 2カ所以内といたします。
- (8) 講演会場における幻灯用フィルムは35mm版として下さい。
- (9) 協会所定の原稿用紙は 1冊30枚綴り 30円、送料は下記の通りです。

| | | | |
|----|-----|----|----|
| 1部 | 20円 | 4部 | 70 |
| 2〃 | 40円 | 5部 | 90 |
| 3〃 | 60円 | | |

切取り線

| | | | | | | | |
|------------------|---|---|---|---|---|------|---|
| * | 和 | 英 | 文 | 文 | * | 受付番号 | |
| | 講 | | | | | | 演 |
| 講演者(ローマ字フルネーム)氏名 | | | | | 勤 | 務 | 先 |
| | | | | | 学 | 位 | 号 |

講演大会講演申込用紙 *印協会事務局で記入

鉄と鋼広告掲載料金改正について

会誌「鉄と鋼」は内容の充実にともない発行部数もいちじるしく増加してまいりましたが、最近用紙代、印刷費、郵税などの諸費用の値上がりはなほだしいものがありますので、やむを得ず広告掲載料金を昭和37年1月号掲載分より下記のごとく改正いたします故、なにとぞご了承のうえ、今後とも掲載下さるようあらかじめおしらせをお願いいたします。

会誌「鉄と鋼」広告掲載料金

| | | | | | |
|----------|-------|--------|----|-------|--------|
| 表紙4 | 1 ページ | 35,000 | 前付 | 1 ページ | 22,000 |
| 表紙3 | 1 ページ | 28,000 | 後付 | 1 ページ | 20,000 |
| 表紙2 | 1 ページ | 32,000 | 色紙 | 1 ページ | 28,000 |
| 目次前色紙1/2 | ページ | 16,000 | 綴込 | 1 枚 | 25,000 |

なお本会誌の広告は下記において取扱っておりますので、掲載ご希望の方はいずれかへお申しつけ願います。

協会通信社 東京都千代田区神田小川町 1～10 三勢ビル
電話 (251) 0395, 8656～9

広告堂 東京都中央区銀座西8～9 一越ビル
(571) 6836, 8763

日本工学会手帖（1962年用）予約申込について

例年のごとく本年も昭和37年用日本工学会手帳が下記の通り発行されますからご希望の方はお申込下さい。

1. 手帳寸法・定価 15cm×9.5cm 200円（送料20円）
2. 予約申込 昭和36年10月31日までに、日本鉄鋼協会または日本工業会（東京都千代田区佐久間町1の11造船協会内 電話(251)4358 振替口座東京5055番）お申込み下さい。
3. 予約金支払期日 昭和36年11月20日まで
4. 手帳発送期日 昭和36年12月1日より

鉄と鋼臨時増刊号線材分科会報告書の刊行について (予告)

本会では昨年以來鉄鋼技術共同研究会の研究部会報告書を「鉄と鋼」臨時増刊号として刊行しておりますが、本年は7月中旬に鋼材部会厚板分科会報告書を「鉄と鋼」第47年第8号臨時増刊号として発行したのにつづきまして、鋼材部会線材分科会報告書を「鉄と鋼」第47年第13号臨時増刊号として11月末に発行することになりました。

この報告書は、線材分科会が昭和30年に発足して以来5カ年の研究成果を編集したもので、線材、設備概況、加熱炉、圧延設備、精整、付属設備、工場作業、工場設備の改良および新設について、モデルプラントの各章からなり、わが国における線材製造各社の設備および技術の現状を示す極めて貴重な資料であります。本会会員には無償配布いたしますが、会員外の方々の参考になることも多いと思われるので、ご希望の方は鉄鋼協会宛来る11月15日までに分譲申込みされるようご勧誘下さい。

(分譲価格 1部 400円, 送料 30円)

Tetsu-to-Hagané Overseas Vol. I. No 1 発刊について

「鉄と鋼」海外版発行につづきまして本誌4月号および5月号会告にてお知らせいたしましたが、いよいよその第1巻第1号はさる8月中旬に完成、世界各国の関係諸団体に向け発送いたしました。その内容は下記目次のとおりであります。まだ多少の残部がありますので下記頒価にてお願いたします。ご希望の方は東京都千代田区丸ノ内2-10仲14号館日本鉄鋼協会宛代金を添え、お申し出下さい。追つて Vol. 1 No. 2 は 11 月末発行の予定であります。

| | | | | | |
|----|----|---------------------------|--|----|------------------------------|
| | 1部 | 1年(4部) | | 1部 | 1年(4部) |
| 頒価 | 国内 | { 会 員 500円 2,000円 (送料とも) | | 外国 | { 会 員 \$ 2.00 \$ 8.00 (送料とも) |
| | | { 非会員 1,000円 4,000円 (") | | | { 非会員 \$ 4.00 \$ 16.00 (") |

Tetsu-to-Hagané Overseas Vol. I. No. 1

| | |
|---|----|
| A Presidential Message on Renewed Publication of the "Tetsu-to-Hagané Overseas" | 2 |
| The Steel Industry of Japan | 3 |
| Institute Announcements and Reports | 11 |
| Lecture Items for the 61st Grand Lecture Meeting of the Iron and Steel Institute of Japan | 13 |
| Operation of Blast Furnace with Self-Fluxing Sinter. <i>Keiji TSUJIHATA, Makoto INOUE, Naoto NAKAMURA,</i> <i>Masakazu YOSHINAGA and Koji YASUDA</i> ... | 20 |
| A New Scale of Basicity in Oxide Slag and the Basicity of the Slag Containing Amphoteric Oxides..... <i>Kazumi MORI</i> ... | 25 |
| Study on Continuous Casting of Steel. <i>Yoshio AKETA, Kantaro SASAKI and Kiyoto USHIJIMA</i> ... | 31 |
| Factors Affecting the Transition Temperature of a Mild Steel. —The Load-Time Relationship of the Notch-Bar Impact Bending Test— <i>Seita SAKUI, Tadahisa NAKAMURA and Masanobu OHMORI</i> ... | 38 |
| Abstracts of Journal of the Iron and Steel Institute of Japan, July to December 1960..... | 50 |
| General View of Instrumentation in Japanese Iron and Steel Industry. <i>Kosuke KIKUCHI</i> ... | 63 |
| Progress of Blast Furnace Practice in Japan..... <i>Kamekichi WADA</i> ... | 70 |
| Japanese Patents Published | 79 |
| Iron and Steel Statistics in Japan | 86 |
| Yawata Steel Modernization and Expansion Programs | 87 |
| Fuji Iron & Steel Co., Ltd. Tokai Iron & Steel Co., Ltd. | 91 |

第7回日本鉄鋼協会九州支部会講演大会開催案内

本会九州支部では金属学会九州支部と共催のもとに下記の通り講演会ならびに見学会を開催いたしますから多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

1. 講演会 日時 昭和36年11月24日(金) 10:00~16:00

場所 熊本大学附属図書館 熊本市黒髪町 旧第5高等学校構内

(市電 子飼橋終点下車徒歩約10分)

| 講演時間 | 演 題 | 講 演 者 |
|----------|---------------------|----------------------|
| 1 10:00 | 開会の辞 | 日本鉄鋼協会九州支部長 湯川正夫 |
| 2 10:05 | 自溶性焼結鉄の基礎的研究(幻) | 住友金属工業(株)小倉製鉄所 渡辺正次郎 |
| 3 10:40 | 鉄滓の石灰分活量と脱硫能力について | 九州工業大学 沢村企好 |
| 4 11:15 | 欧州(主としてソ連)の重工業について | 八幡製鉄(株)八幡製鉄所 谷村 燾 |
| 5 13:00 | 最近の高張力鋼について | 八幡製鉄(株)八幡製鉄所 守田貞義 |
| 6 13:35 | 新しい砂鉄製錬について | 有明製鉄(株)熊本製造所 永田 豪 |
| 7 14:10 | 構造用特殊鋼の熱処理とその性質について | 熊本大学工学部 堀田秀次 |
| 8 14:45 | 耐熱鋼および鑄鉄の熱疲労強度について | 三菱造船(株)長崎造船所 織田貞四郎 |
| 9 15:20 | アームスブロンズ合せ板の製造と加工法 | 三菱製鋼(株)長崎製鋼所 木月清彦 |
| 10 15:55 | 閉会の辞 | 日本金属学会九州支部長 谷村 燾 |

2. 見学会 日時 昭和36年11月25日(土) 9:30~14:00 会費 200円

| 見学先 | 時間 |
|-------------------------|-------------|
| 1 有明製鉄(株)熊本製造所 (熊本市本山町) | 9:50~11:00 |
| 2 水前寺公園 | 11:30~12:00 |
| 3 中 食 (江津社または井関農機(株)) | 12:15~12:45 |
| 4 井関農機(株)熊本工場 (熊本市東本町) | 13:00~14:00 |

*見学会参加者は9:30まで市内鶴屋デパート東横駐車場(市内通町)に集合して下さい。

3. 申込要領 11月5日までに所属、職名、氏名、講演会出欠、見学会出欠、明記のうえ熊本市黒髪町熊本大学工学部金属教室 堀田教授あてお申し込み下さい。

なお見学会参加者は参加費200円、11月24日講演会々場受付にて申し受けます。

4. 宿 舎 観光シーズンにつき混雑が予想されますので日本交通公社または熊本市旅館組合(熊本市魚屋町3の18 Tel ② 4306) および熊本市観光旅館組合(熊本市東阿弥陀寺町2 Tel ② 0265)宛各自早目にお申し込み下さい。

日本鉄鋼協会北陸支部秋季講演会見学会御案内

本会北陸支部では金属学会支部と共催で下記のごとく秋季講演会・見学会を開催いたします。多数会員ご参加下さいますようお願いいたします。

1. 講演会 日時 昭和36年11月17日(金)

会 場 新潟県医師会館(新潟市医学町2番町36) バス県庁前下車

| No. | 時間 | 題 目 | 講 演 者 (○印) |
|-----|-------|-----------------------------------|---------------------------|
| | 9:00 | 開会の挨拶 | 支部長 橋浦彦三 |
| 1 | 9:05 | 砂鉄の低塩基と製鉄に関する研究 | 富山大学工学部(工博)森棟 隆弘・○平沢 良介 |
| 2 | 9:25 | 低アルミニウムフェロシリコンの製造研究 | 日本鋼管・富山 杉山 敏 |
| 3 | 9:50 | フェロマンガン用産密閉式電気炉におけるダストと操業との関係について | 日本鋼管・新潟 松山 琢磨 |
| 4 | 10:10 | 塩基性耐大棟瓦実用試験報告(幻) | 新潟鉄工・新潟 金森 正弘・田中 耕一・○菊池 誠 |
| 5 | 10:45 | 鑄造品の生産について | 不二越・技研 本多 孝 |

| | | | |
|------|-------|--|---------------------------------|
| 6 | 11:50 | クロームニッケル・オーステナイトステンレス鋼の粒間腐食について | 日本ステンレス・直江津 伊藤 直也 |
| 7 | 11:30 | 海面鉄に含まれる炭素の形態に関する研究 | 富山大学工学 (工博) 森棟 隆弘・○伊藤 恭一 |
| 8 | 11:45 | 鍛造クランク軸の内部欠陥について | 新潟鉄工・新潟 清野 清・○若槻 慶男 |
| 9 | 13:00 | 軟窒化処理をせる鋼材の諸性質について | 新潟鉄工・新潟 田村 啓治・○佐藤 敬 |
| 10 | 13:25 | 高速度鋼の焼付性について | 不二越・技研 新井 透・○熊谷真一郎 |
| 11 | 13:50 | 軸受のコロガリ疲労試験について | 不二越・技研 大沢 真澄・○沓掛 栄一 |
| 12 | 14:15 | 金属 Al の食塩溶液における腐食について | 富山大学工学部 位崎 敏男・○新井 甲一 |
| 13 | 14:35 | 二硫化モリブデン処理の切削工具に対する応用 | 不二越・技研 若林 幸雄・○森田 四郎 |
| 14 | 14:55 | 鉛入黄銅の被削性について (幻) | 三越金属 ○鹿島 茂隆・上谷 卓朗・広瀬 省吾 |
| 15 | 15:20 | 粉末の粒度測定法について (幻) | 不二越・技研 峰須賀武治・○斎藤 雄一 |
| 16 | 15:40 | アルミニウム板の再結晶粒度におよぼす Fe Fi ratio の影響 (幻) | 富山大学工学部 (工博) 室町 繁雄・多々 静夫・○品川不二雄 |
| 講演特別 | 16:00 | 最近の欧米金属工業をみて | 富山大学工学部 (工博) 養田 実 |
| | 17:00 | 閉会 の 辞 | 新潟鉄工・新潟 (工博) 斎藤 弥平 |

2. 見学会 集合日時 昭和 36 年 11 月 18 日 (土) 午前 9 時 集合場所 新潟駅前 (バス乗車場)

見学会社工場および順序

| 順序 | 時 間 | 会社・工場名 | 業務内容 | 摘 要 |
|----|-------------|--------------------------------------|--------|-----|
| 1 | 9:20~9:50 | 明道金属(株)新潟工場 | 鉄鋼圧延 | |
| 2 | 9:50~10:40 | 日本鋼管(株)新潟電気製鉄所 | フェロアロイ | |
| 3 | 10:50~11:40 | (株)新潟鉄工所新潟製鋼工場 | 鋳 鍛 造 | |
| | 11:40~12:00 | 市 内 観 光 | | |
| | 12:00~13:00 | 新潟県民謡観賞 (食後) | | 昼 食 |
| | 13:20 | 新潟駅 解散 (三条地区の工場見学希望者の方は引続いてご案内いたします) | | |

3. 申込締切日 昭和 36 年 10 月 31 日

氏名、勤務先名、職名、見学参加の有無を明記のうえ当支部 (富山市石金 20 不二越鋼材工業 (株) 技術研究所内 日本鉄鋼協会北陸支部) 宛お申込願います。なお、見学会参加費 (見学会費 バスおよび中食代 200 円) は講演会当日受付に納入して下さい。

第 4 回自動制御連合講演会開催について

さきに会告 (第 47 年第 5 号) しました上記講演会が下記の通り開催されますのでお知らせいたします。

| | |
|-------|---|
| 主催学協会 | 自動制御研究会, 日本計測学会, 日本自動制御協会ほか 3 学会 |
| 参加学協会 | 日本鉄鋼協会ほか 5 学協会 |
| 開催期日 | 昭和 36 年 11 月 16 日 (木) 17 日 (金) 18 日 (土) 9:00~18:20 |
| 会 場 | 学士会館 (東京都千代田区神田錦町 3 の 28) |
| | 第 1 部 (自動制御理論) では 64 講演, 第 2 部 (自動制御要素) では 65 講演, 第 3 部 (自動制御の各種工業への応用) では 48 講演が行なわれます。 |

第 2 回国際自動制御連合 (I.F.A.C.) 国際会議論文募集について

I.F.A.C. 主催で 1963 年 スイスの Basle で開催される第 2 回国際自動制御会議の提出論文を日本学術会議自動制御研究連絡委員会で募集しておりますのでご希望の方は同連絡委員会にお問合せ下さい。

- 論文提出期限 1962 年 6 月 1 日
- 問合先および論文送付先 東京都台東区上野公園 日本学術会議自動制御研究連絡委員会
- 募集論文の種類 (i) 自動制御理論 (ii) 自動制御の応用 (iii) 自動制御要素

第 12 回塑性加工講演会および第 5 回塑性加工シンポジウムの開催について

本会ほか 5 学協会共催の第 12 回塑性加工講演会および第 5 回塑性加工シンポジウムが下記の通り開催されますのでお知らせいたします。

記

開催期日 昭和 36 年 11 月 20 日 (月) 10:30~16:30 シンポジウム
11 月 21 日 (火) 22 日 (水) 9:00~16:30 講演会

会 場 東京都中小企業会館講堂 (中央区銀座東 2-8)
第 5 回塑性加工シンポジウム (特別講演 4, 学術講演 4)
第 12 回塑性加工講演会 (学術講演第 1 日 18, 第 2 日 17)

11月21日 (火) 9:00~12:00

- (1)(2)(3) 打抜き工具の寿命について
- (4) シェービング加工の基礎的研究
- (5) 前加工としての打抜きがシェービング加工におよぼす影響
- (6) 金属材料のせん断試験
- (7) 薄板の引張り曲げ成形について
- (8) プレス機械の動的特性に関する研究 (第 2 報)

助川 政之 (機 試)
益田 森治 (東工大)
山内 信也 (松下電器中研)
神馬 敬 (東工大)
阿武 邦雄 (理 研)
室田 忠雄 (東工大)

11月21日 13:00~16:30

- (9) 四角筒器の再絞り加工の研究 (その 2)
- (10) プレス絞り用工具の標準寸法について
- (11) 薄板のプレス成形におけるエッジング
- (12) 深紋りの破断特性
- (13) 深紋り性におよぼす板とダイスの表面粗さの影響
- (15) 板の 3 本ロール曲げについての計算
- (16) ロール成形加工の研究
- (17) 冷間成形圧延について (第 3 報)

亀谷 茂 (岩崎通信機)
堀口 忠宏 (日立京専)
吉田 清太 (理 研)
河合 望 (静岡大)
尾崎 康二 (八幡製鉄)
曾田長一郎 (機 試)
山川 俊夫 (機 試)
加藤健三 (日本鋼管技研)

11月22日 (水) 9:00~12:00

- (19) 圧延と鋼板の異方性について
- (20) ロールと材料の接触面における圧力分布について
- (21) 直接圧延法について (鑄鉄薄板)
- (22) 穴型圧延における圧力, トルクおよび幅広がり
- (23) 構ロールによる冷間圧延加工の研究 (その一)
- (24) 傾斜平板による平面ひずみ圧縮
- (25) 平面ひずみの深い押込み
- (26) 相打式鍛造性試験機について
- (27)(28) 常温圧接加工に関する研究 (第 4~5 報)

福田 実 (住友金属中技研)
上滝 洋明 (東 大)
松浦 佐次 (早大鑄研)
大久保忠恒 (東 大)
柳本 左門 (山梨大)
高橋 裕男 (機 試)
工藤 英明 (機 試)
木原 淳二 (東 大)
黒崎 永治 (昭和電線)

11月22日 14:40~16:10

- (32) 爆発成形に関する基礎的研究
- (33)(34) 高エネルギー速度加工の研究 (その 3, その 4)
- (35) 金属板の燥発圧接実験 (Ⅳ)

井上 卓 (阪府大)
清野 次郎 (東大航研)
岡崎 登 (防衛大)

前刷集 オフセット印刷全 1 冊の講演前刷集があります。入手希望者は 10 月 31 日 (火) までに着信するよう日本機械学会あて代金を添えてお申し込みください。代金 1 冊 500 円 (送料とも)